

仲間

第4号

平成24年
1月10日
発行

発行：医療法人清和会 平成とうや病院 熊本市出仲間8丁目2-15

年頭のご挨拶



医療法人清和会
理事長 東野 裕司

新春のお慶びを申し上げます。去る平成23年は、日本国民にとって、決して忘れる事の出来ない辛い一年となりました。

この平成24年が、大震災からの復興の大きな足掛かりとなる一年となりますよう、また皆様方にとりましては安寧な一年でありますよう祈念いたします。

さて私共平成とうや病院にとりまして、この正月は最初の正月であり、数え年で言えば二歳になったわけでございます。つたい歩きから、どうかヨチヨチ歩きの段階でしょうか。

が、子供の成長の速さに負けぬよう、小さな一歩ですが、たゆまぬ努力を続け、皆様方のニーズにお応えし、そして愛される病院を目指してまいります。

そして平成24年が、平成とうや病院の地域への真の仲間入りの年となりますようお願いしております。

本年も、ご指導・ご鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。



平成とうや病院
院長 森 孝志

明けましておめでとうございます。平成とうや病院としての初めての正月を迎えました。

昨年の3月に出仲間に移転して、10ヶ月を迎えます。この間、4月には現在の平成とうや病院に改称し、6月には回復期リハビリテーション病棟および亜急性期病床を開設致しました。

移転と病床の転換と：職員全員の協力、そして連携して頂いております医療機関、施設のご援助があればこそ為し得たことだと思えます。

今年は、平成24年辰年です。「漢書律曆志」では、「辰」は草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと記載されています。平成とうや病院も、この地域での当病院の役割というものを常に念頭において成長し、地域医療連携の輪の中で一つの形を整えられるよう努力致したいと思えます。

今後とも、御指導・御鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。

基本方針

- 1.全ての職種において、基本理念の理解と実践に情熱を持って取り組み、患者さまへの質の高い医療サービスの提供、職員の職場環境の向上を目指します。
- 2.地域の皆さまが安心して過ごしていただけるよう、日々の研鑽に励み技術と知識の習得に努め、信頼される病院作りを目指します。
- 3.環境に配慮しエコを心がけるとともに、災害時にもハード、ソフトの両面で医療を提供できるように病院機能を維持します。
- 4.良質な医療サービスを提供するために健全なる経営活動を行い、安定した経営基盤を構築します。

基本理念

IDENTITY
個人の尊重



リハビリテーション部

作業療法とは？

今回は、当院で行っている作業療法の訓練が具体的にどういったものなのかをご紹介します。



私たちは作業療法士は、まず理学療法士や言語聴覚士と共に、患者さま一人一人の身体機能や精神機能、患者様の生活環境などを評価します。その評価をもとに、更衣・入浴、排泄等の日常生活動作の訓練、退院後や仕事に復帰した時を想定した動作訓練、絵画や書道など趣味活動など様々な作業活動を行いながら身体機能・能力等の改善・福祉用具など道具を介した動作の工夫を図っていきます。

例えば、退院後家事をする必要がある方に、調理訓練として実際に料理の献立を考えて頂き、材料を買い出しに行き、調理を行います。しかし、いきなり調理を始めるわけではありません。



実践的な日常動作訓練を行います。



当院の
作業療法士です！



か？
・火の管理は出来るのか？
・出来た料理をテーブルまで運んでいくことができるのか？
…など、細かく動作を評価し、不十分である機能や動作に対しては反復訓練を、どうしても困難である動作については別の方法を提案し、動作訓練を行っていきます。並行して実際の調理器具・材料を使った模擬的訓練も行います。

訓練は、容易な内容のものから始め、徐々に難しい内容へと段階を付けて行いきます。

職員旅行 ★ 呼子編 ★

とうや病院グループでは、職員の福利厚生の一環として、2・3年おきに職員旅行が行われます。23年度の旅行では旅行日程ごとに3パターンが企画されました。
前号では「沖縄編（2泊3日）」をご紹介しましたが、今回は残りの「呼子編（1泊2日）」と「関西編（1泊2日）」のレポートをお届けします！



透き通って、
きれいな
イカ！ ☆

9月24日に日帰りで当院と水前寺とうや病院、シルバーピアさくら樹のスタッフ計33名と子供4名で呼子に行ってきました。
日帰りではありませんでしたが、呼子朝市、唐津城、虹の松原、大原松露饅頭工場見学など、短い時間の中で、色々な名所を観光しました。なかでも、旅行のメインである『呼子の活きイカ』は新鮮で甘くて最高でした。
同法人内で働く、他のスタッフとの交流もでき、其々が思い出に残る楽しい旅行になったと思います。
(栄養部 田中 亜弥)

『お待たせしてすみません』



4病棟
(回復期リハビリテーション病棟)
介護福祉士 志水 尊

リハビリテーションの言葉の意味を考えると、「再び (re-)」+「能力を持たせ、社会生活に適合させる (habilitate)」ということになります。私の勤務する回復期リハビリテーション病棟では、日々の入院生活すべてが、退院後に自分が自分らしく生活するための訓練となります。

病棟では、ご自宅での生活と同じように、早朝から一斉に、トイレと洗面で活動が始まります。

夜間ポータブルを使用されている方も、朝からは車椅子でトイレへ向かいます。誘導しますが、自力で出来るところは見守り、「終わられたらコールを押してください」と言い残して、次の方の介助へ向かいます。その方が終わったら、また次の方へ…。その間は鳴り続けるコールとの戦いです。患者さまの元へと急ぎ行き、「お待たせいたしました」と介助を続けるその間も、コールは続きます。

「いつもいつも、お待たせしてすみません」と思いながら、焦る気持ちを抑え、走り回って、皆さんが朝食のテーブルに着くと、やっと一段落ついた、という気持ちになります。

4病棟は回復期リハビリテーション病棟55床。症状に応じて、同じフロアにあるリハビリテーション室での訓練はもちろんのこと、お部屋や病棟での訓練や、看護職員によるレクリエーションなど、ご家庭に復帰するための様々な取り組みを行っています。平成23年12月1日現在、約30名の職員が勤務しています。



一日の始まりは朝食と思いますが、患者さまにとつては、目覚めから朝食までの身支度（更衣・トイレ介助等）が、生活の中でその日一日の流れをつくる、いかに大切なリハビリの時間であるのかを、この病棟に来て改めて思いました。健康であれば何でも無いことですが、患者さまにとっては、これほどの時間と手間を要し、日々のリハビリの成果を発揮できる、大切な場面なのです。

「住み慣れた地域、自分の居場所に帰りたい！」という強い想いと、ご家族の支えが、日々の努力の原動力になっているのでしょうか。

私がどんなにがんばってもご家族のようにはいきませんが、これからも、目の前の患者さまには、「お待たせしました。今は、貴方のための時間です。」という想いで見守り、介助し、安心して過ごしていただけるよう、努力していきたいと思えます。

職員旅行 ★ 関西編 ★

11月19〜20日の一泊二日で関西（京都・大阪）へ行ってきました。今回は、平成・水前寺・さくら樹の3施設中28名が参加でした。

初日は朝から生憎の雨でしたが、京都に入る頃から小降りになり、嵐山は雨を気にせずゆっくり回る事ができました。夜は大阪で蟹料理に舌鼓、その後は大阪の夜の街へ繰り出しました。『おおたこ』のたこ焼き、美味でした。

翌日は大阪フリー行動で、吉本新喜劇へ。初めてライブでお笑いを観ましたが、予想をはるかに上回る面白さに感動!! 皆さんにも是非一度、ライブを味わっていただきたいです。病み付きになりますよ☆

また、普段なかなか会う機会のない、グループ内の他施設スタッフとも交流をもて、一段と連帯感が深まりました。

(事務部 江田さつき)



面白さに感動!



リハビリテーション・ケア合同研究大会 参加報告

平成23年10月27日～29日の3日間にわたり、『リハビリテーション・ケア合同研究大会 2011くまもと』が開催されました。

この大会は、日本リハビリテーション病院・施設協会、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会、全国地域リハビリテーション研究会など6団体の会員が、急性期～回復期～維持期を担う病院・施設や在宅生活など、それぞれの場面で携わっていることを通して研究発表を行うものです。医療・介護・福祉の専門多職種が、この研究大会を通して研鑽を図り、地域リハビリテーションの向上を進めていくという目的をもちます。

今回は15年ぶりに熊本で開催され、ホテル日航熊本やパレア・鶴屋ホールを会場とした、大規模なものとなりました。

期間中は一般の方を対象とした市民公開講座や特別デモンストラーションも行われました。

当院は、水前寺とうや病院と合同で協力医療機関として参加しており、第3会場の進行・司会等を担当し、また職員もボスター発表を行いました。



研究発表をすることは、言語聴覚士としてひとつの目標でした。

今回発表の機会を頂いたことによって、他職種と連携し実施した訓練等の視点、患者様の回復過程の分析などを再確認できた良い機会となり、セラピストとしての今後の糧になりました。1回の発表だけに終わるのではなく、更に研究内容を深め、また視野を広げ、今後の訓練に活かしていきたいと思えます。

研究発表の許可を頂いた患者様、夜遅くまで抄録、演題作成の協力をしていただいたスタッフの方々、当日発表を聞いてくださった方々に深く感謝致します。ありがとうございました。

(言語聴覚士 牛島 敏之)



リハビリテーション・ケア合同研究大会にて、演題発表させていただきました。発表に至るまで御指導いただいた先生方、リハビリ部含め応援していただいた方々、そして患者様、大変お世話になりました。皆様のおかげで無事に発表することができたと感じています。

本番では緊張してしまい、言葉が詰まることもありましたが、これも経験と勉強になりました。やはりどのような状況でも人様の前で話すということは難しいと感じました。今回の発表を糧に機会があれば今後もチャレンジさせていきたいと考えています。

(理学療法士 久保 倫人)

ご意見ありがとうございます

～ご意見箱に投函されたご意見から～

ご意見

休日の日が退屈でしつうがありません。病院内で歩く位、時間を消化しています。何かありませんか。

回答

ご意見ありがとうございました。
当院でリハビリができるのは、現在月曜日から土曜日となっておりますが、人員が確保でき次第、日曜日にもリハビリができるようにしていく予定です。

また、ご意見を受けまして当院の食堂で無線ランによるインターネットの接続ができるようにいたしましたので、ご活用ください。

(事務部長 茨木 國隆)

ご意見

週に一回、カレーかハヤシライスかハンバーグが食べたい。

回答

ご意見ありがとうございました。
献立作成には、皆さまからの意見が大変参考になります。

栄養部では、定期的に嗜好調査を行うことになりました。皆様に好まれる料理の抽出や取り入れる頻度など、お食事の提供に反映させていこうと思います。ご要望の件につきましては、嗜好調査の結果を踏まえ、提供回数を増やすことを検討しております。

これからも、ご意見カード、嗜好調査、栄養士食事巡回の機会などに、たくさんのご意見をお寄せください。

(栄養部長 岩崎 由美子)



心電図検査ってなーに？

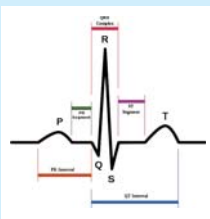


副院長 齊藤 忠興
(循環器内科)

皆さんも、一度は受けたことのある検査と思います。検診等でも必須の検査となっています。心臓の検査のなかでは、最も代表的なものです。

心電図で計測する波形は、心房の電氣的な興奮を示すP波、心室の電氣的興奮QRS波、心室の興奮からの回復を示すT波から成り立っています。心臓に異常があると、この波形が崩れ、それぞれの病気に特有の崩れ方がわかっていますから、その時の心電図を見ることにより心臓の病気の種類と、異常の程度を推定することができます。

心電図検査は非侵襲的な検査で、身体に負担が無く、大変簡便で安全な検査ではあり



ますが、情報量も多い検査です。

心臓が規則正しく脈を打っているのは、心臓の中に規則正しく電気刺激を発している部分があるからです。心臓は、発せられた電気の流れによって、それぞれの心筋細胞が活動し、心臓全体の活動となっていきます。電気の流れといっても、それはかなり弱い小さな電流です。この電気の流れを私たちの目にも見えるようにしたのが心電図です。

通常、両手両足前胸部6か所に電極をつけて記録します。記録された心電図により、

- ①心臓が規則正しく動いているか
(不整脈の有無)
- ②心筋梗塞・狭心症の存在
(虚血性心臓病の有無)
- ③心臓の筋肉の厚さ
(電解質異常)

などがわかりますが、さらに確定のためには血液検査、負荷心電図、心臓超音波、CT、血管造影検査などが必要です。

残念ながら、心電図検査ですべての心疾患はわかりませんし、心臓の機能もわかりませんが、安全で有用な検査なのです。

とうや病院グループ忘年会

2011
12/2

永年勤続☆

とうや病院グループの忘年会の様子をお知らせします。昨年は、「平成とうや病院」として、初めての参加となりました。

カンパイ!

永年勤続の授賞式の後には、各施設から新人を中心とした余興が行われ、豪華賞品獲得に向けて大いに盛り上がりました。

職員同士の絆を深めることができ、新年に向けてエネルギーを充填しました☆

たのしかった〜

やったー

誰〜??



ありがとうございます。
地域の方々のご期待に副えるよう、努力してまいります。今後ぜひ、地域交流室をご活用ください！
(地域健康増進室)



達校区の最も身近で入院生活が可能であり、各種検査設備も整い、生活に応じたりハビリテーションの提供が出来る充実した病院であると喜ばれております。

しかも南熊本から御船に通じる旧御船道と57号線が交わる、外観的にも見易い便利な場所に位置しており、地域に根ざした病院として大いに期待されております。

さて、昨年に当病院の地域交流室を利用して頂き、恒例のふ

れあいいきいきサロンを開催しました。

高齢者の方々が40人、お世話役の民生児童委員10名、総数50名の多数が参加し、大きなスクリーンによる森院長先生自らの病気医療についての入念なご説明に、皆納得しながら聞き入っていました。

又、地域健康増進室の久保田さんによる体をほぐす為の健康体操の指導、そしてヤクルトの栗原さんによるユーモラスな腸からのお便りに皆さん大笑い、最後に雑談をしながらの楽しい昼食と、和やかな中に終了しました。

今後とも、校区社協として高齢者の介護予防の為の健康づくり、仲間づくり等、地域福祉の町づくりを目指し推進して参りますので、宜しくお願いします。

(田迎南校区社会福祉協議会 会長 山本宣親様)

田迎南校区 ふれあい いきいきサロン in 地域交流室

田迎南校区として、初めて平成とうや病院地域交流誌に投稿させて頂きます。

昨年4月1日に平成とうや病院が開院されました、私

達校区の最も身近で入院生活が可能であり、各種検査設備も整い、生活に応じたりハビリテーションの提供が出来る充実した病院であると喜ばれております。

れあいいきいきサロンを開催しました。

高齢者の方々が40人、お世話役の民生児童委員10名、総数50名の多数が参加し、大きなスクリーンによる森院長先生自らの病気医療についての入念なご説明に、皆納得しながら聞き入っていました。

又、地域健康増進室の久保田さんによる体をほぐす為の健康体操の指導、そしてヤクルトの栗原さんによるユーモラスな腸からのお便りに皆さん大笑い、最後に雑談をしながらの楽しい昼食と、和やかな中に終了しました。

今後とも、校区社協として高齢者の介護予防の為の健康づくり、仲間づくり等、地域福祉の町づくりを目指し推進して参りますので、宜しくお願いします。

(田迎南校区社会福祉協議会 会長 山本宣親様)

くすりの豆知識

vol. 3

サプリメントについて ご存知ですか？③



薬剤部長 齊藤 美保

● ● サプリメントの種類 ● ●

1. ビタミン類

*体内での栄養素の働きをスムーズにする機能があり、体内では殆ど合成出来ないため、食事やサプリメントで摂取します。

ビタミンC、ビタミンB1、B2、B6、B12、B3、B5、H、葉酸など水に溶けるビタミンを水溶性ビタミン。ビタミンA、ビタミンD、E、K など脂に溶けるビタミンを脂溶性ビタミンと言います。水溶性ビタミンは摂り過ぎても、尿や汗で外に排出されますが、脂溶性ビタミンは摂り過ぎると、体内（肝臓・脂肪組織）に溜まり、よくありません。



2. ミネラル類

*カルシウム、カリウム、ナトリウム、マグネシウム、鉄分などを言い、ビタミンと共に身体にはなくてはならない微量栄養素です。酵素の働きを助けたり、歯や骨を作るもとになります。

3. アミノ酸類

*種類が多くタンパク質を構成していて、体内で合成することが出来ないため、外から摂取しなければならないアミノ酸を必須アミノ酸と言います。

必須アミノ酸は9種類（イソロイシン、スレオニン、トリプトファン、バリン、ヒスチジン、フェニルアラニン、メチオニン、リジン、ロイシン）あり、体の働きを正常に保つために欠かせません。しかし、多く摂取すれば良い訳でもありません。バランスよく取り入れる必要があります。

米粉のホタテチャウダー

栄養部

旬の食材～

ホタテ

ホタテに含まれるタウリンは血圧の安定、血中コレステロールの低下作用、疲労回復に役立ちます。

調理のポイント

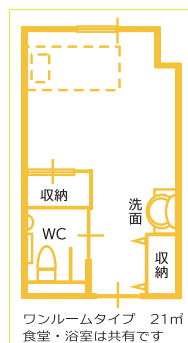
スープのとろみ付けに米粉を使うことで、簡単に調理ができます！米粉のやさしいとろみが冷えた身体を温めてくれます。

作り方

- ①たまねぎ、じゃが芋、にんじん、かぶ、ベーコンは1cm角に切っておく。
- ②鍋を軽く熱して、バターを溶かし、たまねぎ、じゃが芋、にんじん、かぶ、ベーコンを炒める。たまねぎが透き通ってきたら、凍ったままのベビーホタテを加えて炒める。
- ③水を入れて、10分ほど中火で煮込む。
- ④固形コンソメを入れて弱火で5分ほど煮込む。
- ⑤米粉を牛乳で溶き、かき混ぜながら少しずつ加える（火は止める）。
- ⑥火を付け、トロミが付くまで混ぜ、塩コショウで味を整える。
- ⑦器に注ぎ、刻みパセリを飾る。

材料(4人分)

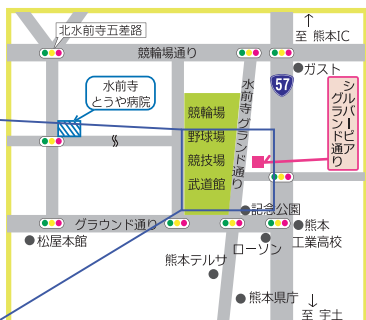
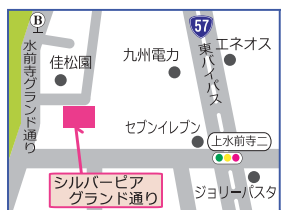
ベビーホタテ(冷凍) …50g	たまねぎ…1/2個
じゃが芋……………1個	にんじん…1/4本
かぶ……………1/4個	ベーコン…20g
バター……………20g	水……………350cc
固形コンソメ………1と1/2個	牛乳……………150cc
米粉……………大さじ1と1/2	塩コショウ……少々
刻みパセリ……少々	



全室個室全60室

【住所】

熊本市上水前寺1丁目
6-5



開設準備室（水前寺とうや病院内）

096-386-0020

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00（祝日を除く）

医療法人清和会では、特定施設の今春の開設を予定しています。
特定施設とは、有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス等）・適合高齢者専用賃貸住宅等の施設にて、都道府県より「特定施設入居者生活介護」の事業者指定を受けた施設です。
看護師や介護福祉士、管理栄養士、相談員、機能訓練指導員などの専門の職員を配置し、入居されている方に介護保険サービス（入浴・排

泄・食事等の介護や機能訓練及び療養上の世話など）を提供することができます。
入居の対象となるのは、満60歳以上（ご夫婦での入居の場合は、一方が60歳以上）で、自立されている方から要支援・要介護の認定を受けられている方です。
水前寺とうや病院をはじめとした医療機関との連携もありますので、安心してご入居していただくことができます。

入居相談受付中！
特定施設シルバーピアグランド通り

平成とうや病院データ

平成23年4月～11月

【入院】

- 3病棟（一般病棟・亜急性期病床）
延べ患者数 8,365人
（1日平均34.3人）
利用率 70.1%
- 4病棟（回復期リハビリテーション病棟）
延べ患者数 7,550人
（1日平均30.9人）
利用率 56.3%

【外来】

- 延べ患者数 1,645人
（1日平均10.1人）

【リハビリテーション】

● 疾患別処方数

- 脳血管（Ⅰ） 468人（月平均58.5人）
うち廃用 182人（月平均22.8人）
- 運動器（Ⅰ） 250人（月平均31.3人）
- 運動器（Ⅱ） 41人（月平均5.12人）
- 呼吸器（Ⅰ） 32人（月平均4.0人）

● 実人数

- 脳血管（Ⅰ） 120人（月平均15人）
うち廃用 84人（月平均10.5人）
- 運動器（Ⅰ） 96人（月平均12人）
- 運動器（Ⅱ） 43人（月平均5.4人）
- 呼吸器（Ⅰ） 22人（月平均2.8人）

当院は昨年11月26日付で、日本リハビリテーション医学会の研修施設として認定されました。今後も教育・研究活動を行い、リハビリテーションの質の向上に努めてまいります。

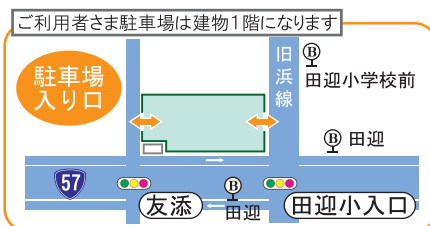
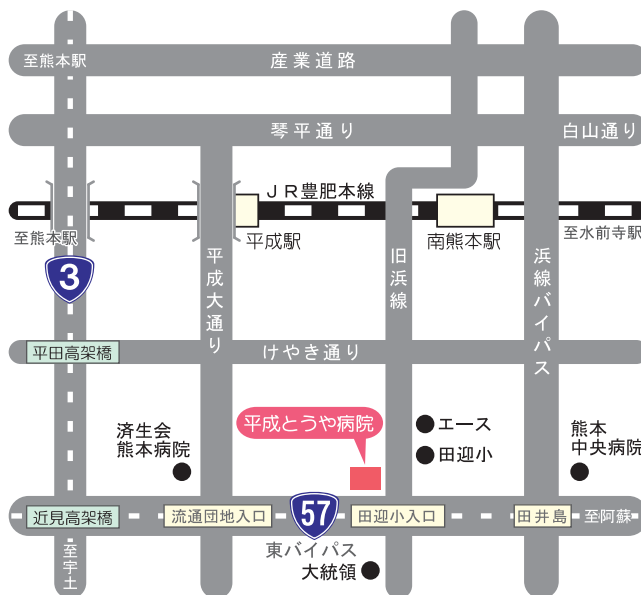


リハビリテーション研修施設として認定されました！

平成とうや病院 患者さまの権利

1. 公平で適正な医療を受ける権利
患者さまの経済的・社会的地位、年齢、性別、疾患の種類にかかわらず、平等で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療上の情報、説明を受ける権利
患者さまが診療録の開示を求める権利、検査や治療の目的・方法・内容・危険性・予後および症状の経過に関して説明を受ける権利があります。
3. 十分な説明のもと自分自身の治療を決定する権利
患者さまの自由な意思により、治療や検査を選択または拒否する権利があります。また、患者さまや家族の方が医師や病院を選び、セカンドオピニオン（主治医以外の医師に相談すること）を受ける権利を尊重しています。
4. プライバシーが保障される権利
患者さまの承諾なくして、患者さまに関する情報を診療に開示する医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
5. 個人の尊厳が保障される権利
患者さまの個人としての人格、価値観は尊重され、その尊厳をもってその生をまっとうする権利があります。

ご案内・お問い合わせ



バスのご案内

熊本バス 南10・南14～15・南17～23（交通センター～中の瀬車庫・甲佐・城南方面）
熊本バス 南2（交通センター～御幸木部）
産交バス 県21（交通センター～松橋）
東バイパスライナー（長嶺団地～西部車庫）

【最寄のバス停】

田迎小学校前バス停（徒歩6分）・田迎（旧浜線）バス停（徒歩6分）
田迎（東バイパス）バス停（徒歩2分）・幸田市民センター入口バス停（徒歩6分）

診療科目

内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・
神経内科・リハビリテーション科

病床数

回復期リハビリテーション病棟	55床
一般病棟	40床
亜急性期病床	10床
合計	105床

外来診療

午前	受付時間	午前8:30～11:30
	診療時間	午前9:00～12:00
午後	受付時間	午後1:00～5:30
	診療時間	午後1:30～6:00
休診日		土曜・日曜・祭日

平成とうや病院

〒862-0963 熊本市出仲間8丁目2-15

電話：096-379-0108 fax：096-379-0228

医療法人清和会 ホームページ：http://www.tohya.or.jp